

**NEWS RELEASE**

平成 17 年 6 月 22 日

**ネット上の口コミ調査・分析システム「電通バズリサーチ」を開発**

株式会社電通は、消費者の購買行動に影響力を持ちはじめているネット上での消費者のバズ(口コミ)を新しく開発した検索エンジンを使ってリアルタイムに把握し、分析するリサーチシステム「電通バズリサーチ」を開発し、本年 10 月より提供を開始する。

近年、消費者のネット利用時間は増加しており、電子掲示板(BBS)や個人のホームページ、ブログなどのCGM(Consumer Generated Media/消費者制作メディア)によるバズが消費者のパーセプション形成や消費・購買行動に影響を持ちはじめている。

電通は「バズ・マーケティング」領域においても、クライアントのマーケティング活動をサポートしていくため、ネット上の情報クリッピングサービスや消費者の生声分析を企業向けに提供している株式会社「ガーラ」<注 1>と資本・業務提携を行い、ネット上の口コミをモニタリング・分析するリサーチシステム「電通バズリサーチ」を昨年 7 月以来、共同で開発を進めてきた。

「電通バズリサーチ」は、消費者によるネット上の書き込みをモニタリング・分析するシステムで、同システムを利用することにより、企業活動などに対する消費者の意見や本音などの反応をリアルタイムに把握しその内容を分析することで、次のマーケティングアクションの立案を即座に実施することが可能となる。

調査・分析が可能なテーマは競合も含めた、企業イメージ評価、ブランド評価、使用実感等の商品評価、価格評価、広告表現評価、タレント・キャラクター評価、キャンペーン評価、IR 評価、CSR 評価、PR 評価などである。

なお、同システムの販売は電通が行い、システムの運用・管理はガーラが行う。

## &lt;注 1&gt; 「株式会社ガーラ」会社概要

資本金：6 億 1739 万円/本社：東京/設立：平成 5 年 9 月/従業員数：25 人

売上高：6 億 100 万円(平成 16 年度)

代表者：代表取締役社長菊川暁

事業内容：コミュニティ・ソリューション事業、データマイニング事業、ホームページ制作事業等

以上

(2005-34)